

2023年度 一般社団法人日本看護技術学会
第2回理事会 議事録

日時：2024年2月19日（月）17：00～19：20

会場：WEB会議システム（ZOOM）

出席者（オンライン）：理事；角濱 春美（理事長）上野 栄一、大久保 暢子、佐伯 由香、
本庄 恵子、前田 ひとみ、水戸 優子、若村 智子
監事；武田 利明、深井 喜代子
選挙管理委員会；佐々木 新介
第22回学術集会長；矢野 里香
事務局；伊津野、中村

議題；

報告事項

1. 前回議事録の確認

2023年度第1回理事会（書面）議事録を確認し、異議なく承認された。

2. 第21回学術集会の件

前田大会長より資料に基づき、学術集会の開催報告と収支報告がされた。

1) 学術集会の開催報告

① 参加登録者数

事前登録（事前参加費）：173名（会員）、103名（非会員）

事前登録（当日参加費）：33名（会員）、30名（非会員）、30名（学生）

当日参加：18名（会員）、31名（非会員）、8名（学生）

② 演題数

一般演題（口演）：40題、一般演題（示説）：13題、卒業研究交流セッション：5題、

交流セッション：14セッション、共済セミナー：3社、企業展示：18社

③ 収支報告書

収支決算書が提示され承認された。収入8,492,149円に対し支出9,723,842円、学術集会準備金を含め-2,231,693円の赤字となった。

3. 第22回学術集会の件

矢野学術集会長より資料に基づき、学術集会の準備状況について報告された。

1) 学術集会の開催報告

①開催概要

会長：矢野 理香（北海道大学大学院保健科学研究院）

会期：2024年10月26日（土）、27日（日）

場所：札幌教育文化会館

テーマ：看護技術の哲学と実装

② 演題登録機関

2024年3月25日～5月24日(金)

③ 審議事項：学術集会の発表者要件について

矢野学術集会長より学術集会の発表者要件について「第一筆者、もしくは責任筆者が学会員であれば発表できるものとする」という審議議題が提示された。

審議事項に関して、下記のような意見があった。

- ・会員を増やしていくという観点では「筆頭著者は会員である」という要件が良いのではないか。
- ・共同研究者は非会員として参加費を徴収するのか新たな枠を設けるのかという点が難しいと感じた。
- ・他学科だと非会員が発表をする場合、発表料を別途納めてもらう場合がある。
- ・非会員の共同研究者が、大会当日に参加をしない場合は臨時会費という名目で定額を納入いただく学会もある。

これらの意見を受けて、学術集会長が検討し、決定していくことが承認された。

4. 第23回学術集会の件

若村次期学術集会長より資料に基づき、学術集会の準備状況について報告された。

5. 第24回学術集会の件

大久保次次期学術集会長より、学術集会の準備状況について報告された。

6. 庶務報告

若村庶務担当理事より資料に基づき、2024年1月31日現在の会員状況、会員数の年次推移が報告された。

7. 役員選挙結果の件

佐々木選挙管理委員長より資料に基づき、次期役員名簿が提示された。

8. 役員選挙時に発生した集計ミスの件

株式会社春恒社システム担当より役員選挙時に発生した集計ミスについて謝罪、原因と対策について提示され、理事長より、今回のミスにより先生方の時間を奪い、信頼が失われているので、これから再度お互いの信頼を構築できるようにしていきたいとお話があった。

今回のミスを受けて、選挙規定の改正（後述）を検討することとした。

審議事項

9. 各種委員会活動報告と2024年度計画及び予算案について

編集委員会（前田委員長）

前田委員長より資料に基づき2023年度活動報告および2024年度活動計画が提示され、承認された。2024年度委員会予算 1,000,000円

研究活動推進委員会（水戸委員長）

水戸委員長より資料に基づき 2023 年度活動報告および 2024 年度活動計画が提示され、承認された。2024 年度委員会予算 500,000 円

審議事項①：第 21 回学術集会一般演題について

第 21 回学術集会の一般演題(口演・示説)57 演題から 6 演題を優秀演題として選出し、同率 1 位だった 2 名を最優秀演題として選出し HP で公表することが提示され、承認された。

審議事項②：卒業研究交流セッション最優秀賞(第 21 回学術集会)

2023 年度卒業研究交流セッション最優秀賞として村木結南氏(三重県立総合医療センター)の「騒音曝露中に行う暗算負荷が指尖の皮膚血流量や皮膚温に及ぼす影響」が選出されたことが提示され、承認された。

審議事項③：卒業研究交流セッションの申し込み要領について

卒業研究セッションの申し込み数増加策として申し込み要領に「同一の指導教員が連盟する発表演題数に制限はありません」という文言の追加が提示され、承認された。

審議事項④2024 年度研究助成審査結果

2024 年度研究助成審査結果について 4 件中 2 件を採択することが提示され、承認された。

技術成果検討委員会（大久保委員長）

大久保委員長より資料に基づき 2023 年度活動報告および 2024 年度活動計画が提示され、承認された。2024 年度委員会予算 3,452,000 円

審議事項①：新加入の班の推薦について

申請班名：食事ケア；食べるよろこびを支え合う技術班

代表者名：迫田綾子氏(日本赤十字広島看護大学)

上記、新加入班について提示され、承認された。

審議事項②：第 30 回日本看護診断学会学術集会からの依頼

第 30 回日本看護診断学会学術集会にてシンポジウムの企画や技術研究成果検討委員会の代表者 3 名の登壇、後援依頼に関して提示され、承認された。

審議事項③：看護技術の診療報酬化プロジェクト新設の提案

委員会とは別組織として 5 年計画の看護技術の診療報酬化プロジェクトを新設することが提示された。しかし、別組織となるとどの様なフローで組織を作り、予算はどのように設定するのかといった意思決定が必要となるのでこれからも審議を深めていくこととなった。

広報委員会（上野委員長）

上野委員長より資料に基づき 2023 年度活動報告および 2024 年度活動計画が提示され、承認された。

2024 年度委員会予算 900,000 円

倫理委員会（若村委員長）

若村委員長より資料に基づき 2023 年度活動報告および 2024 年度活動計画が提示され、承認された。2024 年度委員会予算 250,000 円

選挙管理委員会

佐々木委員長より資料に基づき、2023 年度活動進捗が提示され、承認された。役員選挙集計ミスを受けて、評議員・選挙規定第 8 条に「ただし、オンライン選挙の場合は集計データの整合性チェックを事前に事務局と選挙管理委員会双方に行う」という文言を追記することが審議され、全会一致で承認された。また役員選挙の諾否の取り方順番を明確にするために、第 4 条に「まず理事候補者から諾否を取り、次期理事を確定させた上で監事候補者に諾否を取る」との文章を内規に盛り込むこととなった。

10. 入退会審査

若村庶務担当理事長より資料に基づき入会申込者 15 件、退会届提出者 21 件について提示され、承認された。また自動退会予定者 37 名についても提示され、承認された。

11. 第 21 回学術集会の赤字決算の件

佐伯財務担当理事より赤字分 2,231,693 円に対して、1,000,000 円の学術集会準備金を返済不要とした上で残り 1,231,693 円を学会が補填することが提示され、承認された。

12. 2023 年度決算見込み・2024 年度予算案

佐伯会計担当理事より資料に基づき一般会計、特別会計についてそれぞれ 2023 年度決算見込について説明があった。続いて 2024 年度予算案が提示された。次回理事会で決算書と予算案を承認することが確認された。

13. 理事長報告／審議

- 1) 会員及び学術集会参加者の確保・増加方策について
スケジュールの都合によりメール理事会での審議となった。
- 2) 学術集会とリンクさせた広報活動の検討
スケジュールの都合によりメール理事会での審議となった。
- 3) 第 25 回学術集会长の推薦について
スケジュールの都合によりメール理事会での審議となった。

14. バイオメカニズム学会の件

角濱理事長より資料に基づき、例年通り協賛することが提示され、承認された。

15. 次期理事長及び理事担当の決定プロセスについて

6月に開催予定の社員総会前に新理事・監事候補者と打ち合わせをし、役割や委員長を決めていくことが提示され、承認された。

16. 社員総会日程の件

定款により事業年度終了3か月以内に社員総会を開く必要があるため例年通り6月頃に社員総会を開催することが提示された。具体的な日程に関しては理事会終了後に事務局より理事監事宛に連絡することとなった。

17. 監事からの意見

武田監事、深井監事にご意見を賜ったところ、「特になし」との回答であった。

2024年2月19日

議事録作成人： _____

(角濱 春美)

議事録署名人：

出席監事： _____

(武田 利明)

(深井 喜代子)